

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0801003

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 地域子育て支援拠点事業実施要綱
基本施策	8 子育て・子育ての充実	事業優先度	A	
単位施策	2 「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	子育て支援拠点事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	8 保育所	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	遊びの広場利用者数・親子教室開設数・相談業務数		#N/A	
事業目標	年間利用者数6,000人・親子教室 120回・相談業務 40件	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 子育てボランティア	関係例規・法令名	2 ⇒	
		関係個別計画名	1 雄武町次世代育成支援行動計画	

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画 内容	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力	
	事業費(千円)	9,600	3,675	3,675	750	750	
計画 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	2,250			750	750	
	道支出金	7,308	3,654	3,654			
	地方債	0					
	その他	42	21	21			
	一般財源	0					
実績 事業費	事業費(千円)	9,232	3,696	3,450	638	708	
	財源内訳						
	国庫支出金	2,086			638	708	
	道支出金	7,121	3,681	3,440			
	地方債	0					
	その他	25	15	10			
	一般財源	0					
関連 事項	(特定財源の詳細等) ・子育て支援拠点事業補助金 ・臨時職員雇用保険料	【評価・実績】	(実施内容等) 育児相談、あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力 (実績:利用者4,896人,親子教室110回、相談36件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 育児相談、あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力 (実績:利用者3,674人,親子教室100回、相談28件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 育児相談 あそびの広場 親子教室の開催 育児講座(手作り絵本製作) (実績:利用者3,971人、親子教室128回、相談30回) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 育児相談 あそびの広場(親子教室、開放日) 特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努力 (実績:利用者4,084人、親子教室126回、相談43件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	年間利用数4800人・親子教室90回・相談業務30件	年間利用数4800人・親子教室90回・相談業務30件	年間利用数6,000人・親子教室120回・相談業務40件	年間利用数6,000人・親子教室120回・相談業務40件	年間利用数6,000人・親子教室120回・相談業務40件
		年度達成率	101%	94%	85%	99%	94%
		全体達成率	39%	74%	81%	89%	96%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	子育て支援拠点事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	豊田 通敏
		評価者 作成者 職氏名	主査	八重樫聖子

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子育て家庭	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	子育て支援センター利用者数		
【抱える課題やニーズは】	子育て不安や戸惑いを感じる母親が増加している。共感し合える仲間との交流を求めている。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、関係機関との連携により育児支援の充実を図る。		① 年間利用者数	目標年度	平成24年度
				目標値	6,000人
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	育児不安の軽減と、孤立した子育ての解消により、親が前向きに子育てができ、子どもが健やかに育つ。	② 親子教室開催回数	実績値	3,039人	
			達成度	50.7%	
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	仲良し親子教室	主に0~3歳児の子育て世代親子を対象に、年齢に応じた遊びと親子共に仲間づくりができる場の提供を行った。			
	育児相談	月曜日から金曜日まで支援センターの解放を行い、来所する親子との交流を通じて、育児、子どもの発達、保育所等に関する相談業務を行った。			
	普及促進活動	・保健事業に参加し、育児相談などにより親子との関わりを持つことで支援センターを気軽に利用できるようその存在を伝えた。 ・育児講座等保健係と協力することで内容の充実を図り、対象者に幅広く周知した。また、妊娠中から子育て支援サービスを知る機会となった。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	認定こども園は地域における子育て支援を行う機能を備えているものであり、当該事業は必ず実施しなければならないものである。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	少子化や核家族化などにより、育児不安感や負担感が増加する中、親子の遊びの場や交流の場の確保、相談・援助などの子育て支援は必要である。
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	利用者数は計画当初からみて大きく下回っているが、これは保育所入所児童が増加したことによる(3歳以上児はほぼ100%の入所)。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	利用人数は減ってはいるが、親子教室入会数はあまり変わらず、本事業の目的を十分達成していると考えられる。
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	支援センターが保育所内に設置されていることにより、備品、物品等の共用や保育所職員間の連携がとれている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

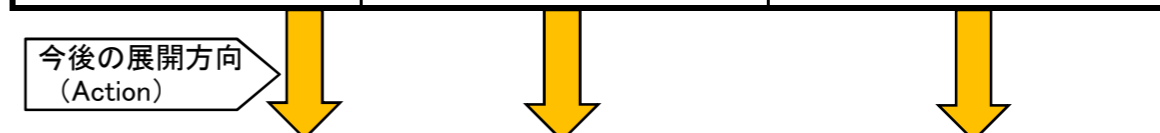
公平	判断の理由	町内すべての乳幼児、保護者が無料で利用が可能。町広報紙等に子育て支援センター情報を掲載し、広く周知している。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
育児における仲間づくりが有効にされており、若い母親の子育てにおける悩み等が解消されていることがうかがえるので、今後も計画どおりに進める必要がある。	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
関係機関と連携して、保護者に向けての講座等を開催し、内容の充実を図る。また、育児情報交換や交流の場として、より一層子育て親子が参加しやすい環境を整えていく。	同左	

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止